（２９）　ふ　　き

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 白絹病 *Sclerotium rolfsii*	1.発病株を抜き取る。 2.株堀取り後に湛水する。 3.連作を避け、水田との輪作を行う。 4.太陽熱消毒をする。 5.株元の過湿を抑えるため、過度な密植を避ける。	植付前	14	リゾレックス粉剤
		植付時	U18	バリダシン液剤５
		定植時	7	バシタック水和剤７５
		発病初期	14 U18	リゾレックス水和剤 バリダシン液剤５
2 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1.排水をよくする。 2.発病株は除去し、処分する。	発病初期	M5 2･10	ダコニール１０００ （混）スミブレンド水和剤
3 うどんこ病 *Podosphaera xanthii*	1.窒素過多は発病を助長する。	発病初期	3 NC･M1	トリフミン水和剤 （混）ジーファイン水和剤
4 半身萎凋病 *Verticillium dahliae*	1.連作を避け、水稲との輪作を行う。 2.太陽熱消毒をする。 3.罹病茎葉は圃場周辺に放置しない。 4.窒素過多は発病を助長する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14．土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	－ － －	トラペックサイド油剤 ガスター ド微粒剤 バスアミド微粒剤
5 ハスモンヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2.施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット（４㎜目合以下）で被覆する。	発生初期	11A 11A 11A 11A 11A 13 15 28	バシレックス水和剤 ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 フローバック ＤＦ サブリナフロアブル コテツフロアブル アタブロン乳剤 プレバソンフロアブル５
6 フキノメイガ	1.取り残した株、枯死した株や茎葉は早期に処分する。 2.折れ曲がった葉茎や葉がしおれた茎葉は、虫糞の出ている食入孔の少し下部から切り取って処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.パダンＳＧ水溶剤はアザミウマ類、アブラムシ類にも登録がある。 2.トレボン乳剤はヨトウムシにも登録がある。	５～10月	3A 14	トレボン乳剤 パダンＳＧ水溶剤
7 タバココナジラミ	1.施設栽培の場合、飛び込み軽減のため防虫ネット（１㎜目合以下）で被覆する。	発生初期	3A 4A 4A	トレボン乳剤 アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤
8 アブラムシ類	1.周辺雑草を防除する。 2.施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット（１㎜目合以下）で被覆する。 3.施設周辺にシルバーテープをはる。 4.シルバーマルチをする。	定植後～生育期 (草丈20cm頃まで)	4A 4A	アルバリン粒剤 スタークル粒剤
		発生初期	4A	アドマイヤーフロアブル
9 ハダニ類	1.圃場及び周辺の雑草処理を徹底する。 2.収穫残さは速やかに処分する。	発生初期	13	コテツフロアブル